

連続する新ATC故障！

ダイヤ改正から1カ月弱
20件以上のATC故障発生！

謙虚さが求められている。新ATCは信頼できるのか！「停止信号受信だから安全性に問題なし」と会社発表。間もなく福知山線事故から一年。常に自分が正しいと自惚れ、過信することなかれ。

東海道新幹線 新ATC処理能力不足 停止信号プログラムに問題、改修へ

東海道新幹線が3月に、情報量を増やし、車両の新型ATC（自動列車制御）制御能力を向上させること（御披露）を導入後、新幹線が停止信号を受信して、停止するトラブルが相次いでいた問題で、JR東海は11日までに、プログラムの処理能力などに問題があったとして、5月末までに改修することを決めた。

新型ATCは3月18日のダイヤ改正に伴って導入された。従来のデジタル信号をデジタル化して、

「停止信号」に異常発生、11日午後2時18分ごろ、盛岡御津町のJR東海道新幹線盛岡～三河安城間進行中の東京発特急「のぞみ29号」が、停止信号を受信したため運転を停止した。その後発着が止まることになった。これは、このATCはすべて停止信号の受信であるため、

「停止信号」に異常発生、11日午後2時18分ごろ、盛岡御津町のJR東海道新幹線盛岡～三河安城間進行中の東京発特急「のぞみ29号」が、停止信号を受信したため運転を停止した。その後発着が止まることになった。これは、このATCはすべて停止信号の受信であるため、

3月18日のダイヤ改正から、デジタル方式の新ATCが導入されました。

4月3日、新ATC導入に大きな貢献があったとして、建設工事業本部、新幹線鉄道事業本部、関西支社に社長表彰が贈られ、松本社長は「ATCは新幹線の安全・安定運行を守る基礎ともいえるシステムだが、切り替え工事を立派に成功させていただいた」とあいさつしています。

しかし、松本社長のあいさつとは裏腹に、ダイヤ改正からわずか1カ月の間に、22件もの新ATC故障が発生しています。ATCは、松本社長があいさつでも述べているように、新幹線の安全・安定輸送を確保するためには故障してはならない存在なのです。新しいATCの導入とはいえ、1カ月に20件以上の故障は多すぎます。

また、つい最近になって「信号○（ゼロ）は信号×（ハッテン）と読み替えること」などと意味不明な掲示が乗務員職場に出されています。

私たちJR東海労は、新ATC故障の原因究明と対策の確立に向けた申し入れを行っています。